

おいらの エーデル

Oirano love edel vol.10

エーデル土山ショートステイ通信

いつもエーデル土山ショートステイ通信「おいらのエーデル」をご覧いただき誠にありがとうございます。早いもので春もすつかり到来し、桜の花も早散り始めました。段々と暖かくなつていくと同時に、草木も少しずつ色づいて参りました。季節は速足で過ぎていきます。まさに光陰矢のごとしとはよく言ったものです。前置きが長くなりましたが、それでは平成28年度最初のおいらのエーデルをお楽しみ下さい。

『フレンドマートへお買いもの』

先日、今年度オープンしたフレンドマート土山店に買い物に行ってきました。

日頃、施設内ではあまりみられない表情を拝見することができ、私たちも。買い物をしている時のいきいきとした表情から、昔のことや家族のことを思い出されているような気が致します。

帰りの車の中で「近くにええところがあったんやな。また行ってみたいもんや」と話をして下さっていました。

『ネイルケア』

昨年度よりハンドマッサージサービスを行っておりますが今回、我がエーデルショートステイスタッフの下岡がネイルケアも始めました。

ネイルケアとはヒトの爪とその周辺の手入れのことを言います。健康や生活の為の保護、美容や身だしなみを踏まえた芸術性、生活の質の保全などの様々な目的に併せた扱い方があり、ネイルケアは一つの確立された分野となっております。また、リラククス効果も期待できます。ご利用者が少しでも満足してもらえよう心を込めてケアさせて頂きます。

『作品作り』

今年度もご利用者の皆さまと沢山の作品を一緒に作る事ができました。色紙スタンプ、箸置き、毛糸座布団などなど、皆さまに助けてもらいながら、楽しい時間を過ごす事ができました。編み物なども慣れた手つきで、逆に私たち職員が教えてもらいました。

『体操リハ』

毎朝、欠かさず「体操リハ」を行っております。日常生活ではあまり身体を動かす機会が少なくなっているご利用者の身体をほぐす目的、また気持ちをリフレッシュにも繋がっております。少しの体操でも歩行や立ち上がりなど日常生活に必要な動作に大きく影響します。

在宅生活を過ごされているご利用者がこれからも元気でいつまでもご自宅で過ごして頂けるよう、支援できればと思っております。



奥村哲弥のコラム 第10回 『歴史は川のように』

約二百年も続いた徳川の世は、ペリー率いる黒船の来襲によってもろくも崩れ去ったのである。この時、幕末の志士達は尊皇攘夷か開国の間で大きく揺れ動くこととなった。一方は開国を、一方は攘夷を、それぞれの立場で訴え血を抗えて戦ったのである。歴史というのは決して、その時だけを切り取って断片的に判断できるものではない。しかるに、歴史は川の流れるものではない。我々が今日、平和を享受できているのは全ては先人の努力の賜物であることを忘れてはならない。先述したとおり、江戸幕府は黒船の脅威によってもろくも崩れ去った。更にいえば先の大戦でも敗戦後、戦前までの価値観は大きく転換した。今まで当然だと教え込まれてきた価値観は一夜にしてすべてが変わることがある。平成の世にあっても、これはまったく無関係ではない。いつ、私たちが生きている価値観が覆るうとも、不思議ではないのだ。歴史がそれを証明している。そのことを意識しながら生きている人間がどれだけのだろうか。人間は弱い生物である。だからこそ心の準備をしておかなければならない。心の準備とは、時代が動く覚悟である。そう遠くはない未来に大きく価値観が覆る可能性があることを我々は忘れてはならない。今日も、当たり前のように平和な日常があり、不平不満をこぼしてしまうが、明日がどうなるのかということをもっと真剣に考えることが肝要だ。川の流れは今日から未来へと確実につながっていることを決して忘れてはならない。